

ニュースレター

No.90

2018年2月8日

この号の発行が大変遅くなって申し訳ありません。

目 次

	ページ
2017 年度総会報告	1
行事のお知らせ	3
大地はダイナミックに動くものだ 箱根編	
第17回 さがみ自然フォーラム	4
神奈川県自然保護協会からのお知らせ	4

2017 年度総会報告

2017 年度総会は、6月17日神奈川県民センターで開催されました。

次第について山口勇一理事の司会のもと、議長に大谷房江理事を選任し進行しました。

議案は、ニュースレター 89号（前号）記載の通り全て滞りなく可決されました。議事終了後、新役員の互選により次のとおり役職を決定し藤崎理事長より閉会前に発表しました。

理事長 藤崎英輔 副理事長 3名 青砥航次 大谷房江 片桐務（五十音順）

この度退任されることになった、理事の飯村武氏、池田等氏、石井隆氏、河野顕子氏、渡邊恒美氏、監事の友井国勝氏には長年にわたり本会発展のためにご尽力頂きましたことに感謝申し上げます。

なお開会に先立ち、来賓としてご出席いただいた、神奈川県環境農政局緑政部自然環境保全課長 山田修様からご挨拶がありました。内容は単なる挨拶を超えて、本年度の神奈川県自然環境保全施策についての説明がありました。この紙上に再録して感謝申し上げます。

山田 修 自然環境保全課長挨拶

ただいま紹介のありました県自然環境保全課長の山田と申します。

神奈川県自然保護協会は50年を超える歴史があるということで、今日は総会開催おめでとうございます。また日頃から環境保全活動や自然保護に関する普及啓発、神奈川を豊かな自然を大切に守り、育む活動を進めていただいているということで、また併せて私ども県の事業や施策にご協力を頂いていることに感謝申し上げます。

本県のかながわ生物多様性計画では二つの大きな目標がございます。地域の特性に応じた生物多様性の保全、その生物多様性の理解と保全行動を実際に促進していくという、二つの大きな目標を掲げて取組をしています。

県民意識調査から

ところが日々の暮らしや経済活動、私たち自身も生態系の一員であるし生態系に影響を及ぼす存在でもあるということにつきまして、一般の県民の方々がどの程度そのことをご存じなのかということも気になっておりまして、用意した資料に目を落としていただきますと、例えばこのようなことをご紹介申し上げたいと思います。（次ページ円グラフ）

昨年度、平成28年度県民ニーズ調査で、生物多様性を取り上げさせていただきました。他にいろいろな質問項目があるんですが、その中にいくつか生物多様性について、例えば言葉の認知度として左上になります。どの程度このことばをご存じですかといった場合、知っている、知らないけど言葉は聞いたことがあるを合わせたのが7割弱の方がご存じだということですね。多いか少ないか皆様のお受け止めがどんなものか分からないのですが、こんな結果ではございました。知らなか



ったという方は3割、私は意外と言葉はご存じの方が多いのかなというように受け止めました。

それではどれだけの行動をそれぞれの県民の方が生活の中で行動に移されているのかなと言うと、この右側のグラフによりますと、一番多かったのが人間の生活が制約されない程度で生息環境の保全を進める、これが大体半分、4割が右上になりますが、ある程度制約があっても生息環境を優先するという回答です。これはなんというのでしょうか、多様性というものの価値を重く受け止めてもらえているのが意外と多いのかなと思います。

望まれている取り組み

その下の生物多様性の取組で重要なもの（横棒グラフ）、一番多いものは一番下、皆さんお住まいのところなんですかね、山地や里山、都市河川で取り組む保全が一番大事だと思うこと、外来生物の防除が次に来て、希少動植物の保護43%というような結果となっています。ですので身近な都市にある自然に取り組んでいく、保全していくと言うことが生物多様性にもつながるということをお皆さんが思っていることが分かりました。

生物多様性への取組を進める上での一つのきっかけとして紹介させていただきました。

平成29年度予算から

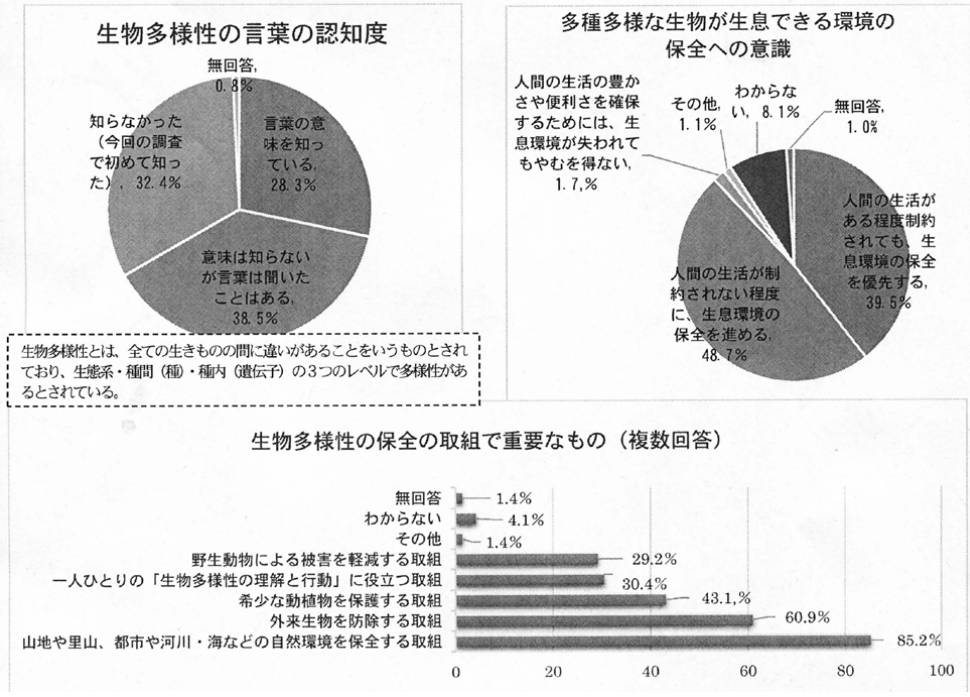
県としては、各市町村の生物多様性の戦略に基づいた行政の取り組みを進めることを支援するののも一つの仕事でありまして、下に掲げるような予算を計上してあります。

いろいろ書いてありますが、上の生息状況調査というのは、比較的そうかなとご理解いただけるものなのかと思いますが、今年からはじめると言うのは、レッドデータブックの更新事業でございます。2006年を最後に改訂をしておりますので10年以上経っておりますので、今日もこのあとご講演頂く生命の星・地球博物館の田中先生などにもお力をお借りして更新作業をしていきたいと考えています。

いつ終わるか分からないのですが、分類群ごとに順次やって今ないと手が付けられないと思いますし、植物・昆虫・・・というような形で順番にやっていく、これから検討していくところなんですけど、兎に角今年からスタートしようということになります。そんなことで今年県としては進めていこうと思っております。引き続き事業の実施に当たりましては、県民の皆様、自然保護協会の皆様とは連携を密接に進めていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

平成28年度 県民ニーズ調査結果（課題調査）

※ 調査対象数 n=1,313



自然環境保全課の生物多様性関連事業費（平成29年度）

1 生物多様性保全基盤整備事業推進費 5,043千円

(1) 生物の生息・生育状況調査

県内の生物の生息・生育などに関する基礎的な情報の基盤整備を図るため、県内のさまざまな野生生物の生息・生育状況に関する基礎調査や外来種であるアライグマのモニタリング調査を実施する。

(2) アドバイザー派遣

県民・事業者・行政の生物多様性の保全への理解と保全行動の促進のため、各主体が行う講座、研修会等へ専門講師を派遣する。

※ その他、予算を伴わない事業として、生物多様性情報サイトの内容を充実するとともに、新たに、県民が身近な自然の中で生きものを観察し、生物多様性を理解することを促進するため「県民参加による生きもの調査」の実施を検討する。

2 レッドデータブック更新事業費 2,937千円

生物に関する基礎的な情報として、県内の希少種の生息・生育状況を把握し、保全施策等に活用するため、県レッドデータブックの更新を行う。

神奈川県自然保護協会 自然観察会案内

2018年2月28日(水) 小雨雪実施※

大地は ダイナミックに動くものだ!!

＝ 今なお活動が続く 箱根火山の地史を目の当たりに ＝

松島先生が案内する神奈川の地形と地質
今回は、県立温泉地学研究所萬年一剛先生を特別講師にお招きしました。

※ 実施困難な天候が予想される時は、前日午後9時頃までに参加者に連絡します。

集 合：JR 小田原駅新幹線口 8：50 解散：箱根湯本駅で16時頃

参加費：大人 4500円（貸切バス代・資料・保険代他）当日集金します。

定 員：先着22名

申込み：① 氏名 ② 年齢 ③ 住所 ④ 電話番号 ⑤参加希望日

（過去参加者は変更がなければ氏名のみで可）を書いて

はがき、FAX 又は Eメールで巻末事務局へ

申込み〆切：開催1週間前 または定員になった時点

持ち物：弁当・水筒・雨具・筆記用具など

コース：（舗装された車道の坂道の登・下りをする部分が含まれます。）

小田原駅 → 大観山 → 山伏峠 → 湖尻峠付近 → 長尾峠 → 箱根ビジターセンター(昼食)
→ 大涌谷 → 底倉 → 箱根湯本付近

見どころ：

- ★ 大観山や長尾峠では、晴れていれば箱根全景や周辺の地形が一望できます。
- ★ 山伏峠では、中央火口丘を作った溶岩の流れを観察します
- ★ 湖尻峠では、中央火口丘生成しの火砕流堆積物を見ることができます
- ★ 箱根ビジターセンター近くの、温泉地学研究所が設置した地震・傾斜計の場所を見せていただきます。
- ★ 底倉や箱根湯本付近では早川泥流堆積物が見られます。
- ★ 無線イヤホーンを使いますので講師の説明が誰にもよく聞こえます。

講師：神奈川県立生命の星地球博物館 名誉館員 松島義章氏

特別講師：神奈川県温泉地学研究所主任研究員 萬年一剛氏

海外自然観察旅行 ポルネオ・サバ州（マレーシア）について 意向伺い

関心のある方は、事務局にご連絡下さい。（会員・非会員は問いません）

約一週間の自然観察旅行を企画した場合、

I 参加したい

II 時期はいつ頃がいいですか。（時期によって値段が違います）

- ① 9月から11月 ② 12月以降（年末年始含む） ③ 12月以降（年末年始含まず）

第17回 さがみ自然フォーラム

同封のチラシのように行われます。

今回は、市民団体、小学校、高等学校、大学で自然を研究の学生、行政、企業など50団体等の展示に加え、外来生物に関する企画展とシンポジウムを行います。

また、発表が一過性にならないよう、参加各主体の照会や展示内容、シンポジウムパネリストの方々の考えなどを約60ページの冊子にまとめ、配布します。

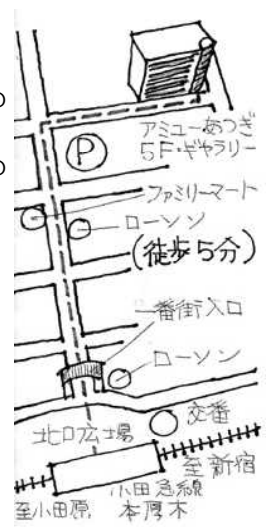
日程は、下記のようなのでぜひお越し下さい。

展示 (全期間 10:00~18:00) 5階 アートギャラリー1~4
開会行事とシンポジウム 2月10日 12:45~16:00 7階 ミュージックルーム2
主催者挨拶 小林厚木市長 藤崎神奈川県自然保護協会理事長
シンポジウム 13:00~

基調講演 村上雄秀氏 国際生態学センター上席研究員 本協会理事

パネリスト

昆虫	岸一弘氏	茅ヶ崎野外自然史博物館	神奈川昆虫談話会
水生生物	勝呂尚之氏	神奈川県水産技術センター内水面試験場	
哺乳動物・鳥類	葉山久世氏	カナダガン調査グループ	神奈川野生動物救護連絡会
植物	山口勇一氏	サークル愛川自然観察会	神奈川県植物誌調査会 厚木植物会 本協会理事



会場案内図

ポスターセッション (展示者による説明) 5階 アーチギャラリー1~3 (※展示団体全てではありません)

- ① 2月11日 10:00~12:00
神奈川県公園協会 / 神奈川野生動物救護連絡会 / 渋沢丘陵を考える会 / 自然塾丹沢ドン会 丹沢ブナ党
- ② 2月11日 14:30~16:30
東海大学北野研究室 / 東京農業大学 (7テーマ) / 慶應大学一ノ瀬研究室
- ③ 2月12日 10:00~12:00
サークル愛川自然観察会 / 愛川自然ネット / ホタルのふるさと瀬上沢基金 / 茅ヶ崎野外自然史博物館 / 湘南生物多様性研究会 / 小田原山盛の会 / 日大森林資源科学科 / 神奈川フィールドスタッフクラブ / カナダガン調査グループ

ステージ発表 (平場ですが、パワーポイント等使って)

- ① 2月11日 13:00~14:15
厚木市立上荻野小学校 / 七沢希望の丘初等学校 / 法政大学女子高校 / 日大くらしの生物学科 / 明治大学倉本研究室
- ② 2月12日 13:00~
株式会社フジタ / かながわトラストみどり財団 / 日本オオカミ協会神奈川支部 / 企画展「考えよう…外来生物」

神奈川県自然保護協会からのお知らせ

今号の発行が大変遅れました。別冊情報版も付けられませんでした。申し訳ありません。
この状況で、重ねて申し訳ないのですが、2017年度会費納入がまだの方、よろしくお願ひいたします。
多くの方からは既に頂いておりますが、前号送付封筒に青や黄色のシールが貼ってあった方です。不明な方は事務局にお問い合わせください。

生物多様性ホットスポット自然観察会

6月9日(土) 江の島で予定しています。

聖天島やあじさい植栽などの問題があった江の島、2020年オリ・パラ開催に向けて地元の期待が大きくなっています。自然にとっては心配なことも増えそうです。

専門家による解説を聞いて観察すると共に、及ばずながら外来生物除去活動もしてみたいと考えています。

ニューズレター 90号

特定非営利活動法人

神奈川県自然保護協会

<http://www.eco-kana.org>

郵便振替口座 00230-0-112653 銀行からの振り込みは ゆうちょ銀行(9900) 029 (せとぎょ)店 当座 0112653

2018年2月8日発行

〒243-0816 厚木市 林 5-15-10 青砥方

TEL&FAX 046-222-2356

Eメール: nacs-kana-office01@eco-kana.org